

下水道BCP策定マニュアル(地震・津波編)検討委員会

<設置趣旨> (案)

東日本大震災では、これまでの想定を上回る広範囲での地震・津波が発生し、液状化による被害も東北地方から首都圏まで広域に及んだ。下水道施設もこれまでに無い甚大な被害を受け、多くの自治体で下水道機能に支障が生じた。

下水道の持つ、汚水の排除・処理による公衆衛生の確保、雨水排除による浸水の防除、汚濁負荷削減による公共用水域の水質保全等といった機能は、被災時に代替となる手段がなく、適切に維持される必要がある。平成21年11月には下水道BCP策定マニュアル(地震編)～第1版～が取りまとめられたが、今回の震災を通して、改めて災害時における下水道機能確保に必要となるBCPの重要性が認識されることとなった。また、現在のマニュアルでは、津波による被害や広域的・長期的な被害については想定していなかった。近い将来発生が予想される東海地震等の大規模地震に備え、下水道部局において今回の教訓を活かしたBCPを策定することが重要である。

上記のような背景のもと、現在の下水道BCP策定マニュアル(地震編)～第1版～の改訂について検討し、マニュアルとしてとりまとめることを目的に本委員会を設置するものである。